

# 都市整備

## 再び、小川駅西口再開発と小川西町地区のまちづくりについて

佐野郁夫議員(政和) ①再開発事業の現状は。  
 ②再開発事業に今求められているものは何か。  
 ③市も事業主体として組合に参画し、再開発事業を推進する考えは。

市長 ①現在、今後の進め方について協議を行っており、準備組合としての活動が止まっている状況である。  
 ②準備組合が組織・財政的に脆弱なため、知識・経験を有する人材と資金確保のための事業協力者の参画が求められている。  
 ③必要に応じて支援を行うが、参画することは考えていない。

小川駅西口再開発について  
 西 克彦議員(共産) ①再開発事業の現状は。  
 ②準備組合に期待していることは。また市の支援は。  
 市長 ①再開発準備組合では平成20年5月の総会以降、事業展



開に問題提起があり、前進の糸口が見えてきたが、臨時総会の開催には至っていない。今後も協議を続け、理事会として事業方針を定め、総会で組合員の理解を求め努力がされている。  
 ②知識・経験を有する人材と、資金確保のための事業協力者の参画を期待しており、市としてもできる限りの支援をしたい。

都市計画道路(3・3・8号線)の計画の現状と今後について  
 山岸真知子議員(公明) ①玉川上水の横断について、行政連絡会での検討状況は。  
 ②地域住民や市民との協議はどのようにしているか。  
 ③今後の行政連絡会の予定は。

市長 ①平面、地下、高架の3案について、周辺への影響を構築別に検討している。  
 ②平成20年度は自治会等からの申し出て懇談会を3回開催し、意見交換等を行った。今後も話し合いの場を設けていきたい。  
 ③平成20年度内を目途に検討結果を整理していきたい。

橋本久雄議員(緑ネ) ①中央公園の東側の林をつぶして南北に通る36号道路について、都の交通量予測の内容は。  
 ②市として計画の再検証が必要ではないか。  
 ③計画を市民にどのように周知するのか。

市長 ①都が環境アセスメントを実施するので、その際に明らかになると考える。  
 ②渋滞の解消、安全性や防災性の向上などのほか、沿道のまちづくりにも寄与するため、再検証は考えていない。  
 ③必要に応じて市報などで周知していきたい。

## 小平駅北口駅前整備について

宮崎照夫議員(政和) ①駅前広場等の検討状況は。  
 ②平成20年度からの実施計画に入れなかった理由は。  
 ③今後の進め方は。

市長 ①基礎調査の前段作業として、各種資料の収集、整理を進めている。  
 ②地区関係者の動向等を考慮した結果、採択には至らなかったためである。  
 ③市街地再開発事業などによる面整備が理想であり、状況を見つつ条件が整えば事業化に向けた取り組みをしたい。

小川駅西口再開発について  
 西 克彦議員(共産) ①再開発事業の現状は。  
 ②準備組合に期待していることは。また市の支援は。  
 市長 ①再開発準備組合では平成20年5月の総会以降、事業展



## コミュニティタクシーの本格運行について

宮崎照夫議員(政和) ①小平駅を起点とした本格運行の事業主体は。  
 ②大沼町と花小金井地域の実証実験運行の運行形態は。

市長 ①平成21年度に試行運行を開始する準備をしており、小平商工会を核とした地域で連携した組織を考えている。  
 ②前者は試行運行を開始する準備を進めており、後者は実証実験運行を6月末まで実施する予定である。  
 ③機運の盛り上がった地域から検討に入りたい。

③全市一斉に実証実験運行をすべきでは。  
 市長 ①平成21年度に試行運行を開始する準備をしており、小平商工会を核とした地域で連携した組織を考えている。  
 ②前者は試行運行を開始する準備を進めており、後者は実証実験運行を6月末まで実施する予定である。  
 ③機運の盛り上がった地域から検討に入りたい。

にじバスの赤字体質をどのように改善するのか  
 立花隆一議員(公明) ①一人当たりの公費負担額は。  
 ②コスト削減のために何を実施してきたか。  
 ③新車両の重量は旧車両の2倍だが、試行運行はしたのか。

市長 ①平成18年度は96円、19年度は102円である。  
 ②運行当初から人件費の削減に取り組んでいる。また車両は償却期間を経ることで、運行経費が平準化されると考える。  
 ③運行事業者がにじバスルートで実地走行を行っている。

にじバスやコミュニティタクシー等の公共交通について  
 佐藤 充議員(共産) ①にじバスを鷹の台駅付近に延伸する件の検討状況は。  
 ②コミュニティタクシーは都の福祉保健基盤等区市町村包括補助事業の対象となるか。  
 ③都バス70について、都の補助を増額させるべきでは。

市長 ①駅東側の市民総合体育館へのアクセスは府中街道の渋滞による定時制、西口は道路幅



コミュニティタクシー

員や車両の滞留できる場所に課題がある。道路事情と環境の変化をとらえて研究していく。  
 ②対象事業になると考える。  
 ③利用状況や走行環境の変化を見ながら、沿線の5市1町で決めていくことと考える。

景観法を活用してまち並みのコントロールを  
 苗村洋子議員(緑ネ) ①まちづくり条例に景観という観点をどのように入れていくか。  
 ②景観行政団体に名乗りを上

女性の健康支援の施策をさらに進めよう  
 山岸真知子議員(公明) ①受診率の低い乳がん・子宮がん検診の啓発状況は。  
 ②乳がんは自己検診で早期発見が可能だが、啓発は。  
 ③妊婦健診に、ヒトT細胞白血球ウイルス1型の抗体検査を取り入れては。

# 医療・健康

検査法等をPRしている。  
 ③健診項目は都内医療機関で共通のため、見直しの際に要望したい。

若者への性に関する情報提供と相談体制について  
 日向美砂子議員(緑ネ) ①性に関する悩みへの対応は。  
 ②性に関する正しい知識提供や相談体制づくりのために、関係部署や機関はどのように連携しているか。

市長 ①講習会やホームページ等で情報提供し、受診率向上に向けた啓発を行っている。  
 ②リーフレットを配布するほか、乳房触診モデルによる自己

啓ては。  
 ③グリーンロードを景観基本軸とする考えは。  
 市長 ①地区まちづくり検討委員会が検討している。  
 ②市民の景観に対する考え方の共有や町並みの方針を定める必要があるため、機運を確かめながら研究していきたい。  
 ③既に玉川上水が指定されていることから、市としても現在の基本軸を尊重しながら研究することが大切と考える。

市内中核病院の一部閉鎖の計画などについて  
 西 克彦議員(共産) ①緑成会病院の計画内容は。  
 ②存続に向けて、市が取り組んでいることは。  
 ③市内の他の病院や、周辺市の動向は。

市長 ①3月末で外来診療を閉鎖するもので、多くの常勤医師が退職し、後任の確保の見込みが立たないためと聞いている。  
 ②継続を再考するよう、また閉鎖した場合は早期に再開するよう依頼した。さらに患者に必要な医療が継続されるよう、他の医療機関への紹介も申し入れた。小平医師会に対しては患者の受け入れの協力を依頼した。  
 ③特に聞いていない。



# 福祉

介護保険事業について  
 川里春治議員(政和) ①小規模多機能型居宅介護施設を整備できないか。  
 ②介護保険のケアプランと、障害者自立支援法の自立プランの関連は。

市長 ①整備の進まない最大の理由は、現在の介護報酬単価では採算がとれないことである。今後は認知症高齢者グループホームと併設する等の方法で事業

者に働きかけていく。  
 ②両方のサービスの支給対象となる場合は、介護保険給付を優先するが、必要な場合は自立支援給付の対象としている。  
 災害時要援護者への支援対策の取り組みを具体化させよう  
 虹川 浩議員(公明) ①避難支援プランの検討は進んだか。  
 ②災害時要援護者の情報収集とリスト化をどう進めるか。  
 ③民生委員や自治会等との情報共有は進んでいるか。

市長 ①平成20年度末までに避難支援マニュアルの素案をつくり、平成21年度にモデル事業を立ち上げて完成させたい。  
 ②当面、高齢者や障害者に焦点を絞って支援体制を構築する中で、リスト等による情報の共有化を図りたい。  
 ③当面は本人が希望し情報開示に同意を得られる方式で対応したい。